

ヨシナカ新聞

9月号
発行所

㈱北陸ヨシナカ
東京営業所

TEL: 03-3555-0796
FAX: 03-3553-8444

カフェオレとカフェラテ

先日、「コーヒーショップに行くとカフェオレを飲もうかと思うたら、メニューにはカフェラテしかありませんでした。さて、カフェオレとカフェラテはどっちでしようか？」

どっちも同じ。呼び方が違うだけ。

ラテはシナモンが入っている。オレは飲む前にミルクとブレンドするが、ラテは最初からブレンドしてある。オレはラテよりミルクの量が多い。泡立てたのがラテでそつでないのがオレ。

実は全部不正解でして、ドリップコーヒーと温かいミルクを半分くらいずつ入れたものがカフェオレで、エスプレッソマシンを使ったコーヒーに泡立てたミルクを注いだものをカフェラテというそつです。ちなみにカフェオレはコーヒーマイルクという意味のフランス語で、カフェラテはエスプレッソ・ミルクという意味のイタリア語です。ややくそつです。ややくそつです。ややくそつです。



ステンレス豆知識 ステンレス鋼の特性

オーステナイト系(18%クロム、8%ニッケル。代表鋼種はSUS304)、フェライト系(18%クロム、代表鋼種はSUS430)、マルテンサイト系(13%クロム、代表鋼種はSUS410)ステンレスの特性についての比較表です。

オーステナイト系は熱処理(焼き鈍し)加工を施した後は非磁性ですが、フェライト及びマルテンサイト系は強い磁性を持ちます。また、加工硬化性はオーステナイト系はニッケルを含む分強くなります。伸びはフェライト系及びマルテンサイト系はあまりない為、曲げ加工に弱い性質があります。

	オーステナイト SUS304/SUS316	フェライト SUS430	マルテンサイト SUS410
磁性	なし	あり	あり
焼入加工性	なし	なし	あり(炭素含有量の多いものは冷却後に割れやすい)
加工硬化性	加工効果性大(Ni含有量の多い鋼種は加工硬化少ない)	冷間加工で多少の硬化が認められる	軟鋼と同じ傾向の加工硬化性を示す
耐食酸性	極めて優れた特徴を有している	屋外の使用には問題がある	大気中でサビを生じることがある
衝撃と伸び	極めて良好、成形性にも富む	オーステナイト系に比べて劣る	オーステナイト系に比べて劣る
溶接性	良好。但し500~600の温度範囲で加熱・徐冷されると耐食性が劣化する	高熱に加熱し急冷されると熱影響部の結晶粒が粗大化して脆化する欠点を持つ	溶解性良くない。予熱後熱処理をしないと溶接割れ
熱膨張	軟鋼の約1.5倍	軟鋼とほぼ同じ	軟鋼とほぼ同じ
熱伝導	軟鋼の3分の1	軟鋼の2分の1	軟鋼の2分の1

「おばあちゃんの知恵袋」

インターネットで『おばあちゃんの知恵袋』というサイトがあります。衣食、住、健康と色んなジャンルで知恵を授かる事が出来ます。その中から私が特に便利だなと思った知恵を紹介させていただきます。

白い運動靴のクリーニング

まず、白い運動靴を普通に洗って、よく乾かします。乾いたら、運動靴の布目にベビーパウダーをはたき込むと見違えるほど白くなります。又、パウダーでコーティングされていますので、次に洗う時も汚れが落ちやすくなります。

シンクの掃除

使い終わったラップを、くしゃくしゃ

と丸めて、そのままシンクをこするだけ。適度な摩擦で、ステンレスのくすみが消えて、傷も付つきません。使い捨てなので衛生的だし、洗剤を使わないから手荒れも心配ありません。磨き終わりに、雑巾でシンクの水滴を拭きとると、水あかを防いで、ステンレスの曇りを防止します。

ファスナーに布がからんだときには

ファスナーの構造は、上の部分だけがつながっていますので、ファスナーとからんでしまった布のほうに、ファスナーの下の部分からマイナスドライバーを差し込み、布をゆっくりと引っ張ってあげます。このとき、コツとしては、ドライバーを少しひねってあげればいいね。ファスナーのスライダーがさくくと持ち上がって、からんでいた布を抜

くことができます。また、ドライバーを差し込む前に、ファスナー部分をドライバーで少し温めておくと、ファスナーが壊れにくくなります。ドライバーをひねるときにあまり力を込めようと、ファスナーが壊れてしまうから、慎重にゆっくりと力を入れるのがコツです。

アイロンのテカテカを消す方法

お酢=1、お水=2の割合で、コップ半分位の量の酢水を造ります。衣類のテカテカの部分に、軽く浸タオルで塗ってから、低めの温度のアイロンをかけると、テカテカがきれいに消えます。



着きます。この練習方法を繰り返すうちに音階やリズムをもう少しスムーズに読めるようになっていけば、いずかは初見でも弾けるようになるだろうと思つていた私でしたが、リズムの勉強を始めたが、リズムの勉強はいつまで経っても弾けないという事には気がついていないのでした。

先生の教える最後のまでたどり着きます。この練習方法を繰り返すうちに音階やリズムをもう少しスムーズに読めるようになっていけば、いずかは初見でも弾けるようになるだろうと思つていた私でしたが、リズムの勉強を始めたが、リズムの勉強はいつまで経っても弾けないという事には気がついていないのでした。

レッスンの方法を一旦白紙にして先生に相談した結果、練習曲以外に、簡単な楽譜を初見で弾く練習を取り入れる事になりました。善は急げとクラシックの初心者用の楽譜を購入し、レッスンで使うようにしました。どの曲を弾くかは先生が決めます。その度に心臓がドキドキします。リズムが単純で一定の曲は2~3度繰り返すとどこかなくですが、なんとかゆつくりと弾けるのですが、和音が出て来たり、付点等リズムパターンが変になると、もうお手上げ状態になって止まってしまうんです。リズムを先生に教えて貰いながらなんとか最後までたどり着きます。

K社員のピアノ奮闘記 第五十話 リズムの厚い壁